

Ⅲ 平成28年度 埼玉県がん教育授業研究会 1 鴻巣市立鴻巣南小学校

文部科学省委託事業「がんの教育総合支援事業」

平成28年度埼玉県「がん教育」授業研究会(小学校)実施要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 平成28年11月29日(火)

4 会 場 鴻巣市立鴻巣南小学校 鴻巣市本町8丁目7-23
*駐車場がありません。公共交通機関で来校願います。
(JR高崎線 「鴻巣駅東口」より徒歩10分)

5 参加者対象 小学校教職員及び指導主事

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| (1) 受 付 | 13時00分～ | (体育館) |
| (2) 全体会 | 13時20分～13時40分 | (体育館) |
| (3) 公開授業 | 13時50分～14時35分 | (体育館) |
| (4) 研究協議 | 15時00分～16時30分 | (体育館) |

7 公開授業

学年	授業者	題 材
6年	堀 祐介 教諭	特別活動(保健指導) 「共に生きる命」 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主席指導主事	石川 泰成
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	武田 直美
埼玉県教育局南部教育事務所	指 導 主 事	小野 毅
鴻巣市教育委員会学校教育部学校支援課	指 導 主 事	杉山 賢次
埼玉県がん教育授業検討委員会委員		
埼玉大学教育学部	准 教 授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	准 教 授	儀賀 理暁
行田市立中央小学校	主 幹 教 諭	馬場久美子
久喜市立菖蒲中学校	養 護 教 諭	永島 志乃

第6学年3組 学級活動（保健指導）指導案

平成28年11月29日（火）第5校時 体育館
児童数 男子16名 女子14名 計30名
指導者 堀 祐介（担任）
ゲストティーチャー 白浜 若菜
（キヤンサー・ソリューションズ株式会社）

1 題材 「共に生きる命」（第6学年 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成）

2 児童の実態と題材設定の理由

（1）児童の実態

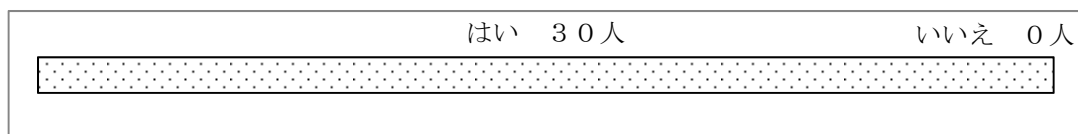
本学級の児童は、明るく、積極的に学習に取り組む児童が多い。また、体育科の保健領域への関心も高く、自分の生活と関連付けながら意欲的に学習することのできる児童が多い。

話し合い活動については、小グループでは多くの児童が進んで自分の意見を言えるが、学級全体の場では自分の意見を進んで話すことに消極的な児童も見られる。

児童はこれまでに第6学年の体育科の保健領域において、正しい生活習慣を身に付けることの大切さ、喫煙、飲酒、薬物乱用による健康への害について学んできている。その中でがんについても基礎的な内容は学んできている。

事前アンケートの結果は以下のようになっている。（平成28年8月31日実施 30名）

1 「がん」という病名を聞いたことはありますか。



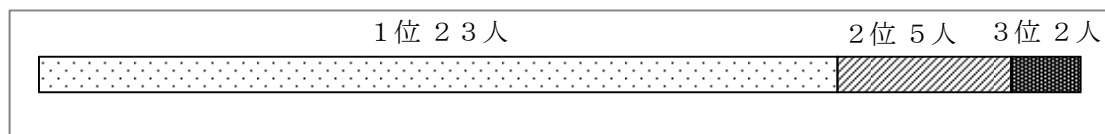
2 「がん」という病気について、知っていること、感じていることがあれば書いてください。

- ・ 怖い ・ 重い病気 ・ 死ぬ確率が高い（死んでしまう） ・ 命を奪う
- ・ いろいろな種類がある ・ 再発することがある
- ・ 治るものと治らないものがある ・ たばこを吸っているとやすい
- ・ 生活習慣が関わっている ・ 入院する

3 日本の死亡原因で多いと思う順に番号を書きましょう。

() 心臓の病気 () 脳の病気 () がん

【がんの順位】



4 日本人のどのくらいの割合の人が「がん」になっていると思いますか。

【男性】

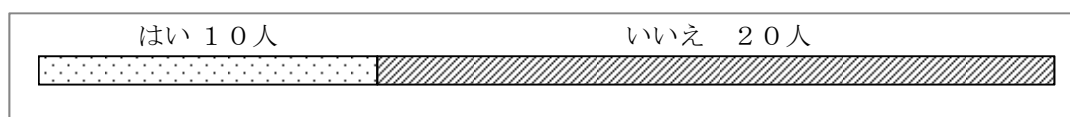
割合 (%)	20	30	40	50	60	70	80
人数 (人)	2	9	6	1	10	2	0

【女性】

割合 (%)	25	35	45	55	65	75	85
人数 (人)	3	8	6	5	6	1	1

○・・・実際の数値

5 自分の身近な人でがんになった人はいますか。



6 がんに対する児童の知識について

	質問	はい	いいえ
①	がんは誰もがかかる可能性がある。	26	4
②	がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	30	0
③	がんは日本人の死因の第2位である。	12	18
④	たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	27	3
⑤	早期発見すれば、がんは治りやすい。	28	2
⑥	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくてもよい。	3	27
⑦	がんの治療法には、手術治療しかない。	5	25
⑧	がんの痛みはがまんするしかない。	5	25

7 がんに対する児童の意識について

	質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①	自分はがんにならないと思う。	6	7	9	8
②	将来、たばこは吸わないでいようと思う。	29	1	0	0
③	日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	19	11	0	0
④	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	25	4	0	1
⑤	がんの治療法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	11	5	9	5
⑥	がんになっても生活の質を高めることができる。	7	9	8	6
⑦	がんになっている人も過ごしやすい世の中にし	26	4	0	0

	たい。				
⑧	がんと健康について、身近な家族と語ることが大切だと思う。	18	10	2	0
⑨	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	28	1	1	0
⑩	長生きをするために健康な体づくりに取り組もうと思う。	28	1	1	0

アンケートの結果から、がんに対して「怖い」「重い病気」「死」などの、漠然としたマイナスのイメージをもっている児童が多いことがわかる。また、がんになっている人の割合が実際の割合よりも少なく感じている児童がおよそ半数いること、自分のがんにならないと思っている児童も半数近くいることより、がんは身近な病気ではなく、自分の生活とは関係のない話として捉えている児童も少なくないことがわかる。身近な人ががんになった経験のある児童は学級に10名在籍している。

(2) 題材設定の理由

がんは1981年より日本人の死因の第1位で、現在では年間36万人以上の国民ががんによって亡くなっている。また、生涯でがんにかかる可能性は年々増加しており、今日においては、日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなると言われている。このことより、がんはわが国の国民における健康及び生命にとって重要な課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつある。

わが国では、がん対策基本法の下、がん対策推進基本計画が策定された。その中で、「健康について子どもの頃から教育することが重要であり、学校でも健康の保持増進と疾病の予防といった観点から、がんの予防も含めた健康教育に取り組んでいる。しかし、がんそのものやがん患者に対する理解を深める教育は不十分であると指摘されている。」といった現状や、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指す」といった目標も示されている。

このようなことから、学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、がんを正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようになることを考えた。そして、がんを特別に扱うのではなく、がんを扱うことを通して、他の様々な病気の予防や望ましい生活習慣の確立を含めた健康教育の充実を図る上でも意義のある内容であると捉え、本題材を設定した。

指導にあたっては、本単元を通して、児童に「がんについて正しく理解することができる」「健康と命の大切さについて主体的に考えることができる」という2点について身に付けさせていきたい。しかし、がんに対する科学的根拠に基づいた理解については中学校・高等学校で専門的に扱うのが望ましいことより、小学校段階では、がんに対する知識、原因、予防、早期発見、治療等についての基礎的な内容に絞って学習し、主に「がん患者の生活の質」「がん患者への理解と共生」に視点を当て、健康と命の大切さについて主体的に考えることを中心に扱っていく。また、家族にがん患者がいる児童や身近な人をがんで亡くしている児童がクラス内に

いることより、そのような児童へ配慮して慎重に指導を行っていく。

3 指導のねらい

- ・がんを予防するために自分にできることや、身近な人ががんになった時に自分にできることを具体的に考えることができるようにする。
- ・がんそのものやがん患者に対する正しい知識を持つことができるようにする。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
身近な人ががんになった時に自分にできることを主体的に考え、よりよい共生に取り組もうとしている。	自身の健康のためにできること、身近な人ががんになった時に自分にできることを考え、判断し、実践している。	がんそのものに対する知識やがんを予防するための正しい方法を理解している。

5 事前の指導

日付	主な活動	・指導上の留意点	☆評価の観点
6月	・体育科（保健領域）4時間扱い 正しい生活習慣を身に付けることの大切さ、喫煙、飲酒、薬物乱用による健康への害について学習する。	・がんが死亡原因の1位であることを押さえる。	☆がんの予防には生活習慣が関係していることがわかる。
9月上旬	・アンケート調査	・結果を分析・集計し、一人一人の実態・学級の傾向を把握する。	
11 / 22 (火)	・第1時実施 がんに対する知識、原因、予防、早期発見等についての基礎的な内容を学習する。	・がんに対する知識とがん予防の方法について正しく理解させる。	☆がん予防の方法について理解することができる。

6 第1時の学習と指導

平成28年11月22日(火) 第5校時

指導者 堀 祐介(担任)

岩崎 里恵(養護教諭)

(1) ねらい

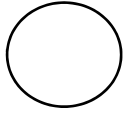
がんそのものに対する知識やがんを予防するための正しい方法を理解している。

(2) 展開

時間	学習活動	・指導上の留意点 ☆評価	教材・資料
10分	1 がんにかかる人の割合のグラフを見て、自分が大腸がんになったときの気持ちやイメージをグループで出し合う。 <予想される反応> ・怖い ・死んでしまう病気 ・治らない ・どうして私が? ・遺伝 ・乳がん ・胃がん	・自分ががんになった時の気持ちを考えた後、グループで意見を交流させることで多様な考えに触れさせる。 ・発表ボードに記入し黒板に貼った後、班ごとに発表させる。	ホワイトボード
2分	2 本時のねらいを知る。 がんについて正しく知ろう。	・がんを漠然と怖がるのではなく、正しく理解する大切さを伝え、児童の学習への意欲を高める。	
15分	3 がんの発生要因、疫学、予防、早期発見・検診などについて養護教諭の説明を聞く。 ・がんとは(発生要因) ・我が国の現状(死因・罹患率など) ※疫学 ・がんの種類(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん 等) ・予防(生活習慣など) ・早期発見(検診など)	・グラフや、図などを使い、児童が視覚的にも理解しやすいようにする。 ・がんの予防のためには正しい生活習慣が大切であることを押さえた上で、どれだけ予防してもがんになってしまうこともあるということについても説明する。 ・早期発見のためにはがん検診が重要であるということを押さえる。	パワーポイント
5分	4 本時のまとめをする。	・児童が理解しやすい文章で端的に本時のまとめをする。 ・キーワードを穴埋めにし、児童に本時を振り返らせる。 ・生活習慣の改善だけでは予防できないがんもあることを押さえる。	模造紙

	<ul style="list-style-type: none"> ・がんは日本人の死因第1位である。 ・がんとは、役割を果たせない異常な細胞が体の中で際限なく増えてしまう病気である。 ・がんは生活の改善で予防できることもある。 ・がんは検診を受け、早期発見することで、治る病気になってきた。 		
10分	<p>5 本時で学んだ知識を活用して、20才の自分に向けてメッセージを書く。</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは、誰にでも起こりうる病気です。しかし早期発見すれば、治る可能性もあります。定期的ながん検診を受けてください。 ・タバコやお酒は、がんの原因になります。適度な運動やバランスのよい食事を心がけるなど、生活習慣を改善し、がんにならないようにしてください。 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学んだ「がんの知識」、「がんの予防」に関することも含めて書けるよう、机間指導する。 ・20才の自分へメッセージを書く意味を必要に応じて養護教諭から伝える。 ・数人に発表させ、学級全体で学習理解を深める。 <p>☆がんそのものに対する知識やがんを予防するための正しい方法を理解している。</p> <p>【知識・理解】</p>	ワークシート
3分	<p>6 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんを身近なこととして考え、正しく知ることができた児童を称賛し、健康の大切さについて押さえる。 	

(3) 板書計画

<p>① がんについて正しく知ろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>がんになる人の割合</p>  </div> <p>自分ががんにになったら</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 がんは、日本人の死因第1位である。 2 がんは、体の中で役割を果たせない異常な細胞が際限なく増えてしまう病気である。 3 がんは、生活習慣の改善で予防できることもある。 4 がんは、検診を受けて早期発見することで、治る病気になってきた。 </div>

7 本時の学習と指導（2／2）

（1）ねらい

身近な人ががんになった時、自分にできることを主体的に考え、人の思いや命の大切さについて考えることができる。

（2）展開

時間	学習活動	・指導上の留意点 ☆評価	教材・資料
1分	1 前時の学習を振り返る。 ・がんの現状（2人に1人） ・原因 ・予防 ・早期発見、検診	・前時のまとめで使った模造紙を用いて、第1時で学習した内容を想起させる。	前時のまとめの模造紙
4分	2 身近な人ががんになった時の気持ちを考える。 ＜予想される児童の反応＞ ・悲しい ・つらい ・落ち込む ・家事や仕事はどうなるのだろう ・早く治療して治ってほしい ・自分にできることはないかな	・自分の身近な人ががんになった時、どんな気持ちになるかを想像させる。 ・どのように考えたらよいかわからない児童には母親、父親など、家族の誰かを具体的にイメージさせる。 ・どのような気持ちになるかを数人に発表させ、学級全体で押さえる。 ・全体的にマイナスイメージの気持ちが出てくるのが予想されるが、暗い気持ちだけでなく、自分にできることはないのかと考えさせることで本時の課題につなげていく。	
	課題 身近な人ががんになった時、自分にできることを考えよう。		
3分	3 身近な人ががんになった時に自分にできることを考え、ワークシートに記入する。 ＜予想される児童の反応＞ ・励ます。 ・普段と変わらずに接する。 ・おもしろい話をする。 ・大変なことは手伝う。 ・時間を大切に作る。 ・一緒にたくさん出かける。	・身近な人ががんになった時に自分にできることを考えさせ、ワークシートに記入させる。 ・何を書いていいのかわからない児童には母親、父親など、家族の誰かを具体的にイメージさせ、自分にできることはないかを考えさせる。 ☆身近な人ががんになった時に自分にできることを主体的に考えようとしている。 【関心・意欲・態度】	ワークシート
5分	4 グループで考えを伝え合う。	・お互いの考えを否定せず、認め合いながら話し合いをさせ、多様な意見に触れさせ	ホワイトボード

<p>10分</p>	<p>5 がん経験者の白浜さんのお話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・がんが見つかったきっかけ ・がんとわかった時の気持ち ・治療をしている時の生活の様子 ・周りの人との関わり ・してもらって嬉しかったこと ・命について考えたこと <p style="text-align: right;">など</p> </div>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな考えが出たかをグループごとにホワイトボードに黒ペンで書かせる。 ・児童の実態に合わせて、わかりやすい言葉遣いでがんになった時の気持ちや生活の様子、周りの人との関わりについて話をしてもらおう。 ・自分たちのグループで出た考えを踏まえた上で、がんになった人の思いに触れさせ、自分たちにできることについて考えながら聞くという視点をもたせる。 	
<p>5分</p>	<p>6 白浜さんに質問をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループと異なった考えやさらに詳しく聞いてみたい所を質問させる。 	
<p>12分</p>	<p>7 グループで考えたことをまとめ、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの考えのまとめ ・話を聞いて、自分たちのグループの考えと異なっていた所 ・話を聞いて、自分たちの考えが変わった所 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・白浜さんのお話を聞いて自分たちのグループの考えを見直し、付け足したり、考えが変わったりしたことなどをホワイトボードに赤ペンで書き込ませる。 ・自分たちの考えがどのように変わったのか、どうして変えたのかを中心にグループごとに発表させる。 ・まとめにつながるような言葉を意識して取り上げるようにする。 ・児童の発表後に、発表を聞いての感想を白浜さんに話してもらう時間を設け、さらに理解を深める。 <p>☆身近な人ががんになった時に自分にできることを考え、判断している。【思考・判断・実践】</p>	<p>ホワイトボード</p>
<p>2分</p>	<p>8 グループ学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちに寄りそう。 ・今を大切に生きる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人ががんになった時のことを真剣に考えられた児童やグループを称賛する。 ・児童の発表内容から共生に関わる内容を取り上げ、がんだけにとらわれず、相手の気持ちに寄り添って接すること、お互 	

3 分	9 がんの学習をしての振り返りをする。	いの命を大切にすることについてまとめる。 ・がんについての学習を振り返らせ、学んだこと、感じたこと、自分にできることを記入させる。	ワークシート
--------	---------------------	--	--------

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">がんになる人の割合</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">○</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習したこと</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ① 身近な人ががんになった時、自分にできることを考えよう </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 気持ち ・ショック ・悲しい ・頭が真っ白 ・これからどうしよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> まとめ ・気持ちに寄りそう。 ・今を大切に生きる。 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">白浜さんのお話を聞いて</div> </div> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								

8 事後指導

- ・アンケートを実施し、児童の変容を分析する。
- ・ワークシートを家庭に持ち帰り、健康や命の大切さについて家族と話をする機会を設ける。【ワークシート】

埼玉県がん教育研究授業 第1時 スライド

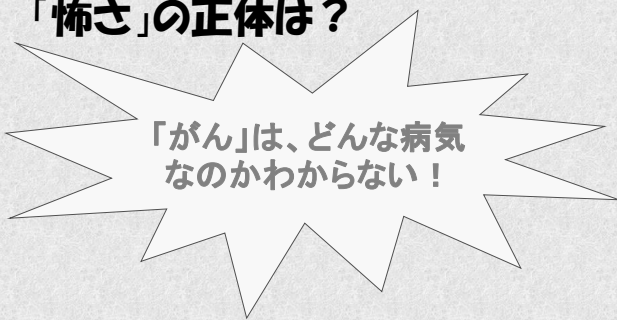
1

この「怖さ」ってどこからくるの？



2

「怖さ」の正体は？



3

「がん」って、どんな病気なの？



4

一生のうちに、がんになる人は？

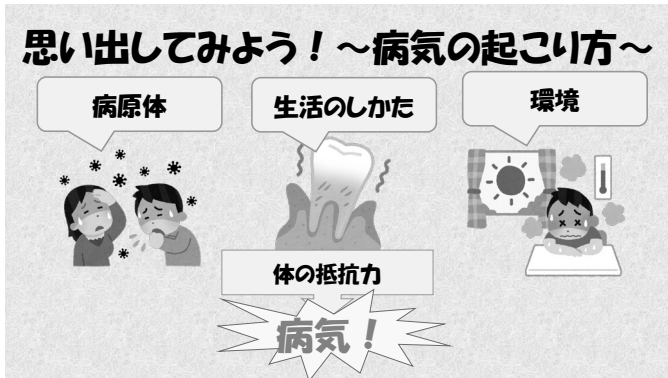


5

「がん」には、どんな「がん」がある？



6



7



8

人間の体は、約_____個の細胞でできているのでしょうか？

ヒント ①生命のスタートは、受精卵・・・1個
②からだが大きくなる＝細胞の数が増える

60兆個

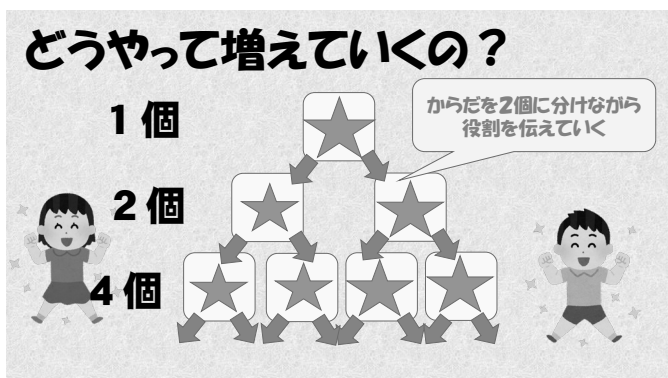
9

細胞がどんどん作られて、からだができています。

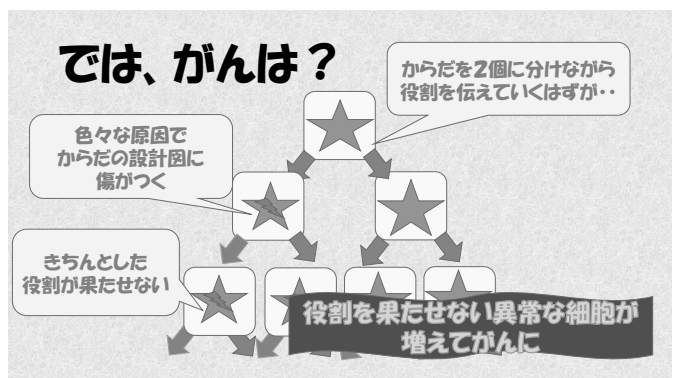
細胞一つ一つにすべての体の設計図が入っている (Every cell contains the entire body's blueprint)

設計図に従って細胞の数を増やしていく (Following the blueprint, increase the number of cells)

10



11



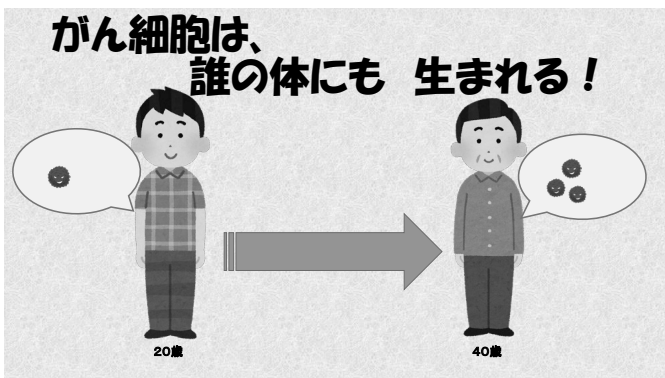
12



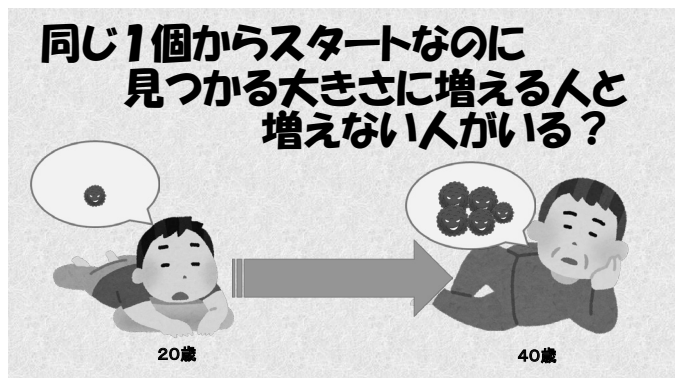
13



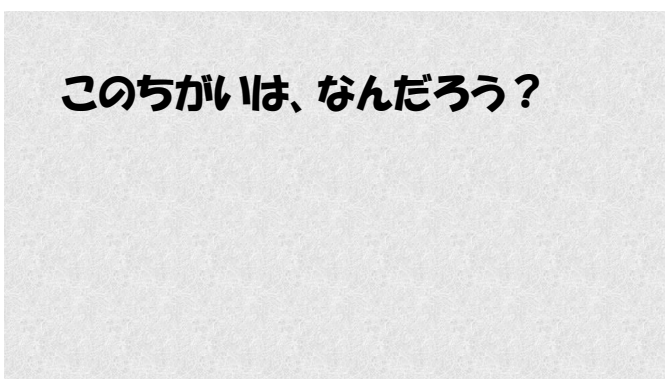
14



15



16



17



18



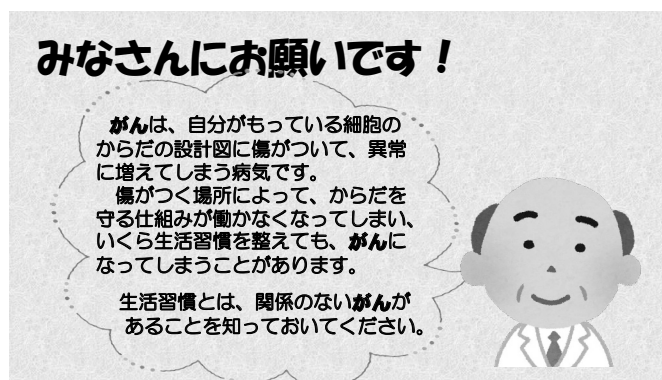
19



20



21



22

＜第1時 メッセージ用紙＞



20才の自分へ



名前（	）

＜第2時 ワークシート＞



がんについて学ぶ



6年___組 氏名_____

☆身近な人ががんになった時、自分にできることはなんだろう。

☆がんの学習を振り返って（学んだこと、感じたこと、自分にできること など）

☆おうちの方から一言

健康教育に関するアンケート

6年()組()番()

1 次の質問に答えましょう。

1 「がん」という病名を聞いたことはありますか。○をつけましょう。
(はい ・ いいえ)

2 「がん」という病気について、知っていること、感じていることがあれば書いてください。

3 日本の死亡原因で多いと思う順に番号を書きましよう。
() 心臓の病気 () 脳の病気 () がん

4 日本人のどのくらいの割合の人が「がん」になっていると思いますか。○をつけましよう。

- ① 男性 20% () 30% () 40% () 50% ()
60% () 70% () 80% ()
- ② 女性 25% () 35% () 45% () 55% ()
65% () 75% () 85% ()

5 自分の身近な人でがんになった人はいますか。○をつけましよう。
(はい ・ いいえ)

2 がんについて次の質問について、当てはまるものに○をつけましよう。

1	質問	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
①	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。				
②	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。				

2	質問	はい	いいえ
①	がんは誰もがかかか可能性がある。		
②	がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。		
③	がんは日本人の死因の第2位である。		
④	たばこを吸わないこと、バランスよく食事をすること、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。		
⑤	早期発見すれば、がんは治りやすい。		
⑥	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくてもよい。		
⑦	がんの治療法には、手術治療しかない。		
⑧	がんの痛みはかまさんすししかない。		

3	質問	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
①	自分のがんにならないと思う。				
②	将来、たばこは吸わないでいようと思う。				
③	日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。				
④	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。				
⑤	がんの治療法はいくつかあるが、医師が決めるものである。				
⑥	がんになっても生活の質を高めることができる。				
⑦	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしてほしい。				
⑧	がんと健康について、身近な家族と語ることが大切だと思う。				
⑨	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。				
⑩	長生きをするために健康な体づくりに取り組もうと思う。				

Ⅲ 平成28年度 埼玉県がん教育授業研究会 2 三郷市立早稲田中学校

文部科学省委託事業「がんの教育総合支援事業」

平成28年度埼玉県「がん教育」授業研究会(中学校)実施要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 平成28年11月17日(木)

4 会 場 三郷市立早稲田中学校 三郷市 彦成5丁目56
*駐車場がありません。公共交通機関で来校願います。
(JR武蔵野線 「新三郷駅」北口から徒歩10分)

5 参加者対象 中学校教職員(保健体育科授業担当者、養護教諭等)及び指導主事

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| (1) 受付 | 13時00分～ | (体育館) |
| (2) 全体会 | 13時20分～13時40分 | (体育館) |
| (3) 公開授業 | 13時50分～14時40分 | (体育館) |
| (4) 研究協議 | 15時00分～16時30分 | (体育館) |

7 公開授業

学年	授業者	单元名
3年	菅野 恒典 教諭	保健体育(保健分野) 「(4)健康な生活と疾病の予防」 イ 生活行動・生活習慣と健康

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	加賀谷貴彦
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	武田 直美
三郷市教育委員会指導課	指 導 主 事	藤井 邦之

埼玉県がん教育授業検討委員会委員

埼玉大学教育学部	准 教 授	七木田文彦
川口市立在家中学校	教 諭	佐野 秀行
久喜市立菖蒲中学校	養 護 教 諭	永島 志乃

保健体育科（保健分野）学習指導案

平成28年11月17日（木） 第5校時 体育館
第3学年4組 男子20名 女子17名
指導者 (T1) 教諭 菅野 恒典
(T2) 養護教諭 古里 瞭果

1 単元名 「健康な生活と疾病の予防」 イ生活行動・生活習慣と健康

2 単元について

わが国では、「がん」が重要な健康課題となっている。このことから、「がん対策基本法」が施行され、これに基づき「がん対策推進基本計画」が決定された。その中では、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」を目指すこととしている。これまで学校では健康の保持増進と疾病の予防といった観点から、がんの予防も含めた健康教育に取り組んできたが、がんそのものやがん患者に対する理解を深める教育は不十分であった。

がんは身近な病気であるということを理解させ、がんの予防や早期発見・検診についての関心をもち、正しい知識を身に付けさせた上で適切な対処ができるようになることを目指す。

「健康な生活と疾病の予防」（本単元）では、人間の健康は、主体と環境がかかわり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それにかかわる要因に対する適切な対策があることについて理解させなければならない。本単元のうち「イ 生活行動・生活習慣と健康」では、健康と生活行動は深くかかわっており、食生活、運動、休養及び睡眠のそれぞれと健康との関係について理解させる。また、健康を保持増進するためには、調和のとれた生活を続けることが必要であること、不適切な生活習慣はやせや肥満、生活習慣病を引き起こす要因となったりし、生涯にわたる心身の健康に様々な影響があることについても理解させる。

本単元で扱う生活習慣病には、肥満や糖尿病、高血圧、脳卒中、心臓病などを取り上げて扱い、それぞれの疾病について、原因や予防について理解させる。また、特に近年重要な健康課題となっているがんについては特別に取り上げて扱うこととする。

3 生徒の実態

本学級は、明るく和やかな雰囲気であり、積極的に自分の意見を伝えながら良好な人間関係を構築できる生徒が多い。保健学習の授業に対する関心はおおむね高く、特に学習課題に対して生徒それぞれの考えを収束させたり、発表し合ったりするような活動を好む生徒が多い。他教科の授業において、知識構成型ジグソー法を取り入れた授業を何度か経験しており、「エキスパート活動」や「ジグソー活動」を通して、グループ内でプレゼンをしたり、考えをまとめたりすることに慣れている。しかし、一部の生徒は人前での発言を苦手としており、班での話し合い活動になかなか貢献できない場面が見られる。また、学力差が大きく、特に知識の定着度に大きな差が見られる。

事前アンケートの結果から見られる、がんに対する生徒の実態は以下の通りである。

Q1 あなたは「がん」についてどのような印象をもっていますか？（複数回答可）

- ・死亡率が高い（12人）
- ・怖い（10人）
- ・重い（9人）
- ・治りづらい（8人）
- ・抗がん剤治療が苦しい、髪が抜ける、吐き気をとまなう（5人）
- ・早期発見が大切（4人）
- ・治らない（3人）
- ・種類がある（3人）
- ・見つかるのが遅い（3人）
- ・再発する（2人）
- ・苦しい（2人）
- ・2人に1人がかかる（1人）
- ・転移する（1人）
- ・日本における死因の割合が高い（1人）
- ・かかりたくない（1人）
- ・黒くて大きい（1人）

Q2 「がん」は、治る病気だと思いますか？

- ・思う（26人）
- ・思わない（5人）
- ・治るものと治らないものがある（6人）

Q3 将来、「がん」を見つけるために「がん検診」を受けてみようと思いますか？

- ・思う（33人）
- ・思わない（3人）
- ・ある程度の年齢になったら（1人）

Q4 家族、親戚など身近な人でがんにかかった人がいますか？

- ・いる（15人）
- ・いない（22人）

Q5 がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。

- ・そう思う（29人）
- ・どちらかといえばそう思う（7人）
- ・どちらかといえばそう思わない（1人）

Q6 がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。

- ・そう思う（21人）
- ・どちらかといえばそう思う（15人）
- ・どちらかといえばそう思わない（1人）

Q7 がんは誰もがかかる可能性のある病気である。

- ・正しい（35人）
- ・誤り（2人）

Q8 がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。

- ・正しい（37人）
- ・誤り（0人）

Q9 がんは日本人の死因の第2位である。

- ・正しい（22人）
- ・誤り（14人）
- ・無回答（1人）

Q10 たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。

- ・正しい（34人）
- ・誤り（3人）

Q11 早期発見すれば、がんは治りやすい。

- ・正しい（37人）
- ・誤り（0人）

Q12 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。

・正しい (0人) ・誤り (37人)

Q13 がんの治療法には手術治療しかない。

・正しい (6人) ・誤り (31人)

Q14 がんの痛みは我慢するしかない。

・正しい (6人) ・誤り (31人)

Q15 自分はがんにならないと思う。

・そう思う (1人) ・どちらかといえばそう思う (6人) ・どちらかといえばそう思わない (13人) ・そう思わない (17人)

Q16 将来、たばこは吸わないでいようと思う。

・そう思う (33人) ・どちらかといえばそう思う (2人) ・どちらかといえばそう思わない (1人) ・そう思わない (1人)

Q17 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。

・そう思う (21人) ・どちらかといえばそう思う (14人) ・どちらかといえばそう思わない (1人) ・そう思わない (1人)

Q18 がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。

・そう思う (22人) ・どちらかといえばそう思う (12人) ・どちらかといえばそう思わない (2人) ・そう思わない (1人)

Q19 がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。

・そう思う (6人) ・どちらかといえばそう思う (15人) ・どちらかといえばそう思わない (11人) ・そう思わない (5人)

Q20 がんになっても生活の質を高めることができる。

・そう思う (5人) ・どちらかといえばそう思う (6人) ・どちらかといえばそう思わない (15人) ・そう思わない (11人)

Q21 がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。

・そう思う (26人) ・どちらかといえばそう思う (11人) ・どちらかといえばそう思わない (0人) ・そう思わない (0人)

Q22 がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。

・そう思う (13人) ・どちらかといえばそう思う (17人) ・どちらかといえばそう思わない (4人) ・そう思わない (3人)

Q23 家族や身近な人が健康であってほしいと思う。

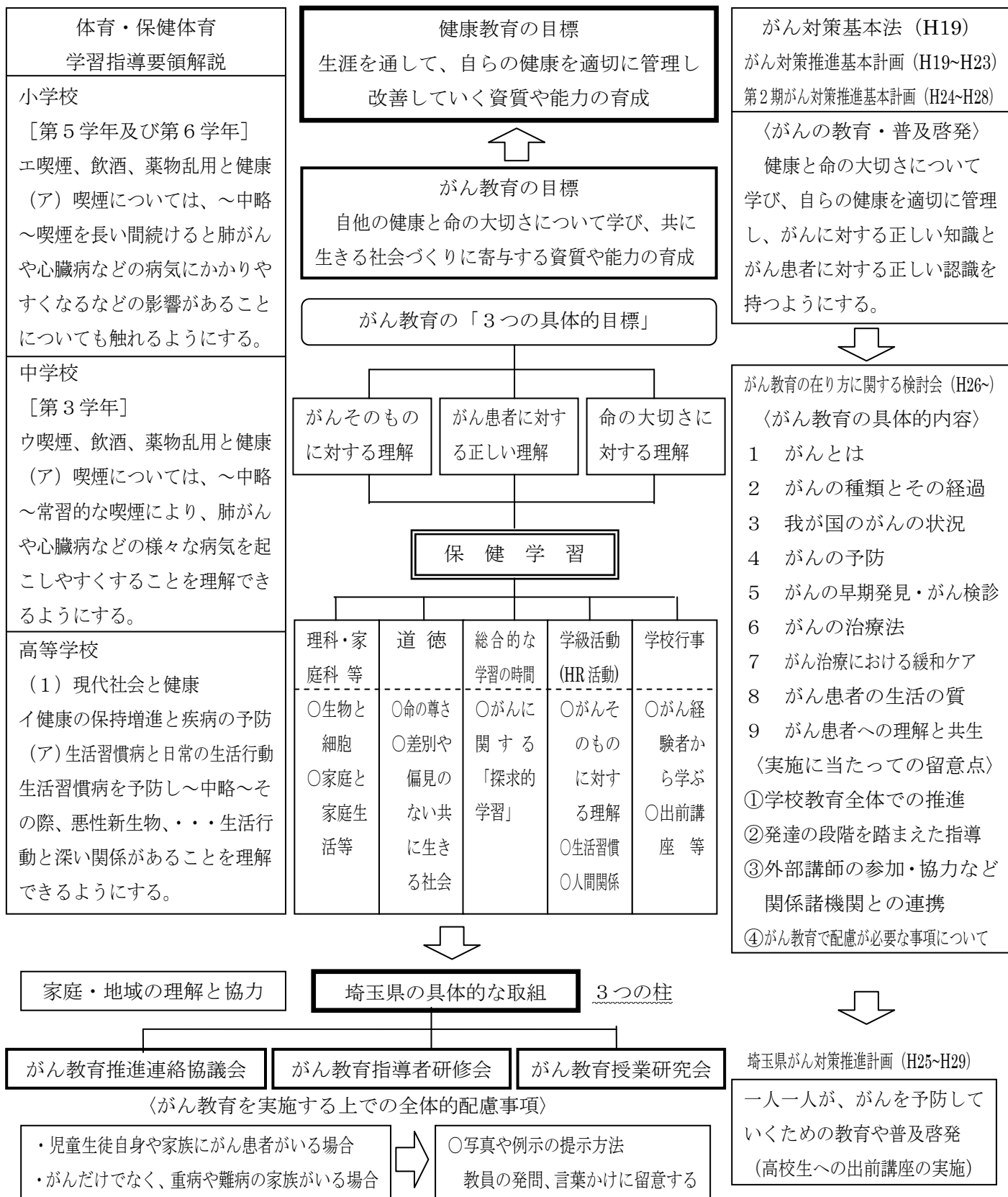
・そう思う (33人) ・どちらかといえばそう思う (3人) ・どちらかといえばそう思わない (1人) ・そう思わない (0人)

Q24 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。

・そう思う (31人) ・どちらかといえばそう思う (5人) ・どちらかといえばそう思わない (0人) ・そう思わない (1人)

4 教師の指導観

埼玉県「がん教育全体計画」抜粋



本単元の特性と生徒の実態から、以下のような授業を展開したい。

- 生徒が主体的に学習活動に取り組む授業
- よりよい生活行動・生活習慣について、知識を活用した学習活動などにより、思考を促す授業
- 生活習慣病とその予防について正しい知識が身に付き、理解が深まる授業

これらの授業を実現するための具体策を以下に示す。

道徳・特別活動の授業との連携

がん教育は、保健体育の授業のみならず、他教科等との連携を強めながら、生徒の生活改善・実践意欲の向上につなげることが重要である。

本單元においては、**事前指導として**、道徳「余命ゼロ 命のメッセージ」の授業を通して「命の大切さ」について触れる。また、**事後指導として**、学級活動における「公共マナーと周囲の人々の気持ち（がん患者を例に）」の授業を通して「がん患者への理解と共生」について触れるようにする。

この手立てによって、学習内容が深まり、生徒のよりよい生活行動・生活習慣につながる授業となるようにしたい。

知識構成型ジグソー法を取り入れた授業展開

本單元における指導内容は多く、これまでも教師主導の講義型の学習活動が中心となっていた。そこで、がん教育の授業においては「知識構成型ジグソー法」を活用し、生徒が主体的に学習活動に取り組む授業を展開する。以下は、本授業のためのジグソー法のステップ（授業展開の手順）である。※4人グループ×9をあらかじめ編成しておく

ステップ0 本時の課題の設定

（4つの知識を組み合わせることで解ける内容を設定し、その課題を解決するのに必要な資料を、テーマごとに準備しておく。）

ステップ1 学習前の自分を知る

（課題に対する答えを、現時点の自分の力だけでワークシートに記入させる。）

ステップ2 エキスパート活動

（各グループから1人ずつ、4つのテーマそれぞれの担当を決定し、他のグループの同じテーマ担当と集まって話し合いながら理解を深めさせる。話し合いが円滑に進むように、ブレインストーミングを取り入れる。このエキスパート活動を経て、自分が担当するテーマについて詳しくなるようにする。）

ステップ3 ジグソー活動

（各テーマについて詳しくなった生徒が元のグループに戻り、身に付けた内容を説明し合う。それらの内容を組み合わせて、課題に対する答えをつくらせる。）

ステップ4 クロストーク

（グループごとに、課題に対する答えを発表させる。また、他のグループの答えや、答えに到達するまでの筋道の違いを確認させる。）

ステップ5 学習後の自分を知る

（ここまでのステップを参考に、あらためて課題に対する答えをワークシートに記入させ、本時で学び成長した自分を確認し、振り返らせる。）

以上のように授業を進める上で、生徒に学ばせるべき内容に落ちがないように、エキスパート活

動やジグソー活動の際に、教師が机間指導を行いながら支援にあたる。また、クロストークや教師からの話の際に、話し合いに出なかった話題に触れながら全体指導を行う。

話し合いや説明・発表が苦手な生徒に対しては、班編成や同じテーマで学習するメンバーに配慮したり、教師が個別に支援に入ったりする。

これらの手立てによって、生徒が主体的に学習活動に取り組み、学習内容の理解が深まるような授業をめざす。

養護教諭との連携（ティームティーチング）

がん教育を進める上での留意点として、「外部講師など関係諸機関との連携」が挙げられているが、他の単元等においても、恒常的に指導に入ることができる指導者として考えられるのが養護教諭である。本時の授業においては、導入で「がんとは？（要因等）」について説明をする場を設定し、生徒の授業に対する意欲を喚起する。

この手立てによって、自らの生活行動・生活習慣をよりよくしようとする態度を育てる授業をめざす。

がん教育の指導内容の焦点化

がん教育について指導すべき具体的な内容は非常に多い。そのため、本単元では「がんとは（要因等）」、「我が国のがんの状況」、「がんの予防」、「がんの早期発見、がん検診」の4つに絞って指導することとする。

そのうち「がんとは（要因等）」については、養護教諭からの一斉指導とする。また、「我が国のがんの状況」、「がんの予防」、「がんの早期発見、がん検診」については、エキスパート活動のテーマとして設定し、生徒同士で話し合わせながら理解を深めさせる。

この手立てによって、正しい知識を身に付けさせる授業をめざす。

ICTの活用

教師がタブレットを活用し、グループで話し合いの際に記入したワークシートをその場で投影したり、板書の手間を省いてプレゼンをしたり、机間指導をしながら授業の進行をしたり、授業で示した資料をすぐに振り返ることができるようにしたりすることで、効率的に正しい知識を身に付けさせる授業をめざす。

視聴覚にうったえる資料

実際にインタビューをした映像を流したり、タバコの箱を手にとって記載文を読んだりするなど、視聴覚にうったえる資料を準備し、学習意欲を喚起する授業をめざす。

5 単元の目標

- (1) 生活行動・生活習慣と健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 生活行動・生活習慣と健康について、課題の解決を目指して、科学的に考え、判断できるようにする。 【思考・判断】
- (3) 生活行動・生活習慣と健康について、基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解することができるようにする。 【知識・理解】

6 単元の指導計画と評価計画

(1) 単元の観点別評価規準

	ア 健康・安全への 関心・意欲・態度	イ 健康・安全についての 思考・判断	ウ 健康・安全についての 知識・理解
評価 規準	生活行動・生活習慣と健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生活行動・生活習慣と健康について、課題の解決を目指して、科学的に考え、判断し、それらを表している。	生活行動・生活習慣と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解している。
学習 活動 に 即 した 評価 規 準	①健康に関する資料を進んで見つけたり、自分たちの生活を振り返ったりして学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	①資料等で調べたことをもとに課題解決の方法を見つかけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ②学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つかりするなどして、筋道を立てて、それらを説明している。	①食生活と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ②運動と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ③休養及び睡眠と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ④調和のとれた生活と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ⑤がんの発生要因とその予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。

(2) 単元の指導と評価の計画【全5時間+2時間(道徳・学級指導)】 本時は○印

【道徳「余命ゼロ 命のメッセージ」】

時	学習のねらい・活動	留意点・評価
事前 指導	<p>I ねらい</p> <p>・かけがえのない自他の生命の大切さを自覚し、前向きに生きていこうとする心情を育てる。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 世界や日本の平均寿命はどのくらいか。また、それはすべての人にあてはまるか。</p> <p>2 「余命ゼロ 命のメッセージ」を読み、話し合いの話題を確認する。</p> <p>(1)「がん」で余命1年半と宣告された「わたし」が、高速道路に突っ込んで死のうと思ったときの気持ち</p> <p>(2)妻の考えを聞いても何も言えなかった時、「わたし」の心の中</p> <p>(3)学校の講演活動に積極的になった「わたし」の考え</p> <p>(4)「そんな軽い命ならわたしにください」の言葉の意味</p> <p>3 ワークシートに、本時のふりかえりを記入し、発表する。</p>	<p>一人一人の命の長さは違うことを理解させる。</p> <p>死の宣告を受け、投げやりになる気持ちに共感させる。</p> <p>周囲に支えられている命に気づき、人のために尽くそうと決心した「わたし」の気持ちに迫るようにする。</p>

【保健学習】

時	学習のねらい・活動	関	思	知	評価方法
1 食生活と健康	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活行動・生活習慣と健康について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立てて説明できる。 食生活と健康について理解したことを行ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康を保持増進するための食生活について考える。 健康を保持増進するための食事や配慮すべきこと、運動に応じたエネルギーの補給について説明を聞く。 自分の食生活について考える。 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。 <p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活や疾病の予防には、毎日適切な時間に食事をするのが大切であること。 年齢や運動量に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮する必要があること。 運動によって消費されたエネルギーを食事によって補給することが必要であること。 		②	①	<p>〈思・判②〉 (学習活動3) 学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立てて、それらを説明している状況を【観察】でとらえる。 〈知・理①〉 (学習活動4) 食生活と健康について理解したことを言ったり、書き出ししたりしている状況を【観察・ワークシート】でとらえる。</p>
2 運動と健康	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活行動・生活習慣と健康について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組むことができる。 運動と健康について理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 運動不足が体に及ぼす影響について考える。 運動が心に及ぼす影響について考える。 運動の効果(身体面・精神面)と健康の保持増進のための適切な運動について説明を聞く。 自分の生活(運動量など)について考える。 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。 	①		②	<p>〈関・意・態①〉 (学習活動1) 健康に関する資料を進んで見つけたり、自分たちの生活を振り返ったりして学習活動に意欲的に取り組もうとしている状況を【観察】でとらえる。 〈知・理②〉 (学習活動5)</p>

	<p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動には、身体の各器官の機能を刺激し、その発達を促すとともに、気分転換が図られるなど、精神的にもよい効果があること。 ・健康な生活や疾病の予防には、日常生活において適切な運動を継続することが必要であること。 			<p>運動と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている状況を【観察・ワークシート】でとらえる。</p>
3 休 養 及 び 睡 眠 と 健 康	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活行動・生活習慣と健康について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立てて説明できる。 ・休養及び睡眠と健康について理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 疲労が心身に及ぼす影響について考える。 2 心身の疲労を回復する方法について考える。 3 休養及び睡眠の効果ならびに健康の保持増進のための適切な休養及び睡眠について説明を聞く。 4 自分の生活における休養や睡眠のとり方について考える。 5 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。 <p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたる学習、運動、作業は、疲労やストレスをもたらし、心身の不調や病気を引き起こすこと。 ・健康な生活や疾病の予防には、休養及び睡眠によって心身の疲労を回復することが必要であること。 		②	<p>〈思・判②〉 (学習活動2) 学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立てて、それらを説明している状況を【観察】でとらえる</p> <p>③ 〈知・理③〉 (学習活動5) 休養及び睡眠と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている状況を【観察・ワークシート】でとらえる。</p>
4 調 和 の と れ た 生 活 と	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活行動・生活習慣と健康について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明できる。 ・調和のとれた生活と生活習慣について理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 望ましい生活習慣について考える。 2 健康と生活習慣の関連、調和のとれた生活の必要性、生活習慣の乱れによる生活習慣病など、生活習慣が健康に及ぼ 		①	<p>〈思・判①〉 (学習活動1) 資料等で調べたことをもとに課題解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している状況を【観察】で</p>

<p>生活習慣病</p>	<p>す影響について説明を聞く。</p> <p>3 今後実践できる生活習慣の改善について考え、発表する。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。</p> <p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の健康は生活行動と深くかかわっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた食事、適切な運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること。 ・食生活の乱れ、運動不足、睡眠時間の減少などの不適切な生活習慣は、やせや肥満などを引き起こしたり、また、生活習慣病を引き起こす要因となったりし、生涯にわたる心身の健康に様々な影響があること。 			<p>とらえる。</p> <p>④ 〈知・理④〉 (学習活動4) 調和のとれた生活と生活習慣病について理解したことを言ったり、書き出したりしている状況を【観察・ワークシート】でとらえる。</p>
<p>⑤ がんの発生要因とその予防</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。 ・がんの発生要因とその予防について、理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 がんについて知っていることをワークシートに記入する。 2 がんの要因について養護教諭からの話を聞く。 3 知識構成型ジグソー法のステップで、「がん」についての学習を進める。 エキスパート活動 → ジグソー活動 → クロストーク 4 本時の学習を振り返り、「がん予防を呼びかける手紙」を書き、発表する。 <p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞の遺伝子に傷がついてできる異常な細胞のかたまりの中でも悪性のものをがんという。 ・免疫力が低下するなどにより、がん細胞が死滅しにくくなり、細胞が増加する。 ・喫煙や大量の飲酒、不適切な食事、運動不足などの生活習慣や、細菌・ウイルスなど感染が要因。 ・望ましい生活習慣を送ることにより、危険性を減らすことができる。 ・生活習慣が原因でないがん(小児がん等)もある。 ・日本の死因の第1位であり、3割はがんのために亡くなっている。また、2人に1人は、一生のう 	<p>①</p>		<p>〈関・意・態②〉 (学習活動3) 課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている状況を【観察】でとらえる。</p> <p>⑤ 〈知・理⑤〉 (学習活動4) がんの発生要因とその予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている状況を【観察・ワークシート(手紙)】でとらえる。</p>

	<p>ちに何らかのがんにかかる」と推計できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罹患（がんにかかる）率は、年齢が上がるにつれ増加し、男性が多い。その理由は、喫煙や過度の飲酒など、危険性を高める生活習慣が男性に多いため。また、20～50代では女性の方が多く、乳がん・子宮頸がんがこの世代に多いため。 ・がん予防のための望ましい生活習慣は「喫煙をしない」「過度の飲酒をしない」「バランスのよい食事」「適度な運動」「適正体重の維持」「感染対策」 ・早期発見により約9割が治る。そのために、市町村や職場の検診においてがん検診を受けることができる。しかし、受診率は50%に達していないという現状がある。 				
--	---	--	--	--	--

【学級活動「公共マナーと周囲の人々の気持ち」】

時	学習のねらい・活動	留意点・評価
事後指導	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の見学や出願など、公共交通機関を使う機会が増える時期に、進路学習の一環として、公共マナーと周囲の人々の気持ちについて考えさせ、互いに気持ちよく生活を送る態度を育てる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「昨年度の学校への苦情」と「修学旅行において電車内のマナーを校長先生から褒められたこと」について考え、考えを伝え合う。 2 校外に出た際、中学生である自分たちが犯してしまいそうなマナー違反と、周囲への影響を考える。 →ふざけて発する「死ね」などの言葉と、既習の「がんについての学習」の結びつき 3 周囲の方々と気持ちよく過ごすことができるふるまい方を考える。 4 本時の振り返りを行う。 	<p>電車内での悪いマナーへの苦情と、良いマナーへの称賛を比較させる。</p> <p>既習事項の「がんについての学習」を振り返ったり、その他様々な状況にある周囲の人々の気持ちを考えさせたりする。</p> <p>望ましい行動・ふるまい方を全体で確認し、気持ちよく生活できるようにする。</p>

7 本時の学習と指導（5／5）

(1) ねらい

- ・課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。

【関心・意欲・態度】

- ・がんの発生要因とその予防について、理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。

【知識・理解】

(2) 資料及び準備するもの

スクリーン、プロジェクター、タブレット、ワークシート、資料（エキスパート活動用）、付箋

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 5分	1 がんについて知っていることをワークシートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">STEP 1 学習前の自分を知る</div> 2 本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「がん」とはどのような病気で、どのように予防したらよいだろうか？</div>	○現時点で知っていることを、できるだけたくさん書かせる。 ○活動が停滞している生徒には、「がんに対するイメージ」や「どんな病気だと思うか」など、個人の考えを書いてよいことを伝える。 ○数人に発表させ、クラス全体の理解度を確認する。 ○本時の学習が、がんに対する不安を和らげ、明るく生活することにつながることを伝える。
展開 I 10分	3 「がんとは？ (要因等)」について養護教諭からの話を聞く。	○養護教諭は、パワーポイントの画面で説明を行う。 ○ワークシートに記入をさせながら、養護教諭の説明を聞かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> 【指導する内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・がんとは、細胞の遺伝子に傷がついてできる異常なかたまりの中でも悪性のものをいう。 ・免疫力が低下するなどにより、がん細胞が死滅しにくくなり、細胞が増加する。 ・よくない生活習慣が、がんにかかる危険性を高める。 ・日本における死因の第1位であり、今も増え続けている。 </div> ○説明を受け、穴埋め式のワークシートに記入した内容を簡単に振り返り、学習内容を再確認させる。
展開 II 25分	4 同じテーマの資料を読み合う新たなグループをつくり、話し合い、理解を深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">STEP 2 エキスパート活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">話し合いのテーマ</div> ア がんの罹患 (がんにかかること) イ 生活習慣とがん オ がん検診 カ 三郷市におけるがん検診 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">話し合いの進めかた</div> ①資料を見る・読む	○あらかじめ、元のグループ内で、テーマの割り振りを教師側で決めておき、生徒がスムーズに移動し、各テーマの話し合いが円滑に進むようにする。 ○各テーマの話し合いの場には、テーマに合った資料を準備しておき、元のグループに戻ってから報告しやすくなるよう支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> 【理解させるべき内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・罹患 (がんにかかる) 率は、年齢が上がるにつれ増加し、男性が多い。その理由は、喫煙や過度の飲酒など、危険性を高める生活習慣が男性に多いため。また、20～50代では女性の方が多く、乳がん・子宮頸がんがこの世代に多いため。 ・がん予防のための望ましい生活習慣は「喫煙をし </div>

	<p>②資料から気づいたこと・考えたことを付箋に記入し、グループの中央にどんどん貼る（ブレインストーミング）</p> <p>③内容をまとめ、元のグループに戻った時の報告内容を整理する</p> <p>5 各テーマを学んだ生徒が元のグループに戻り、身に付けた内容を説明し合う。それらの内容を組み合わせ、本時の課題「がん」とはどのような病気で、どのように予防したらよいだろうか?に対する答えを作り上げる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">STEP 3 ジグソー活動</p> <p>6 グループごとに、課題に対する答えを発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">STEP 4 クロストーク</p>	<p style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">ない」「過度の飲酒をしない」「バランスのよい食事」「適度な運動による適正体重の維持」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見により治すことも可能であり、市町村や職場の検診においてがん検診を受けることができる。しかし、受診率は50%に達していないという現状がある。 ・自分たちにできることは、①望ましい生活習慣を送ること②できるだけ早期の発見に努めることの2つであること。 <p>○元のグループでの話し合い用シートを準備しておき、記録をさせながら話し合いをさせる。</p> <p>○それぞれのテーマについて1人ずつ発表をさせる。その際、調べたこと全てを伝えるのではなく、大切だと思われる内容を絞って発表するよう伝える。</p> <p>◆課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。【関】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">努力を要すると判断できる状況（C）の生徒への手立て（支援）</p> <p>△話し合いが上手く進んだグループを全体に広め、なかなか発表ができない生徒や話し合いが進まないグループに良い例を示す。</p> <p>○各グループから発表者を1人決めさせ、全体の前で発表させる。</p> <p>○後で発表する生徒は、他グループの発表との違いについて触れるように伝える。</p> <p>○エキスパート活動やジグソー活動、クロストークにおいて、理解させるべき内容が不十分だった部分に対して、教師から補足説明を入れる。</p>
<p>終末10分</p>	<p>7 本時の学習内容を振り返りながら、自分へ向けた「がんの予防を呼びかける手紙」を書かせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">STEP 5 学習後の自分を知る</p> <p>8 手紙の内容を発表する。</p> <p>9 教師の話を聞く。</p>	<p>○これまでに使ったワークシートを見直させ、手紙を書くための材料となるようにする。</p> <p>○「がんの予防」だけでなく、「がんがどのような病気で、どのような現状があるか」についても触れるよう、全体に伝える。</p> <p>○導入で記入した内容と、自分にあてた手紙の内容を比較させ、本時の伸び（学んだこと）を実感させる。</p> <p>◆がんの発生要因とその予防について、理解したことを言ったり、書き出したりすることができる。【知】</p> <p>○本時のまとめを行い、がんを予防するための望ましい生活習慣の必要性について再確認する。</p>

「がん」について

3年()組()番 氏名()

- 1 「がん」について知っていることを何でも書こう。

2 今日の課題

「がん」とはどのような病気で、どのように予防したらよいらうか？

- 3 「がん」とはどんな病気か？古里先生の話を聞いて、()にメモしよう。
・がんとは、細胞の遺伝子に()できる異常な細胞のかたまり、その中でも()のもの。
・健康な場合は、がん細胞をたおす働きがある。()が低下すると、たおす働きが弱まり、がん細胞が増える。
・日本における死因()位であり、今も増え続けている。
・よくない()により、がんにかかる危険性が高まる。

4 エキスパート活動 ～テーマの達人になろう～

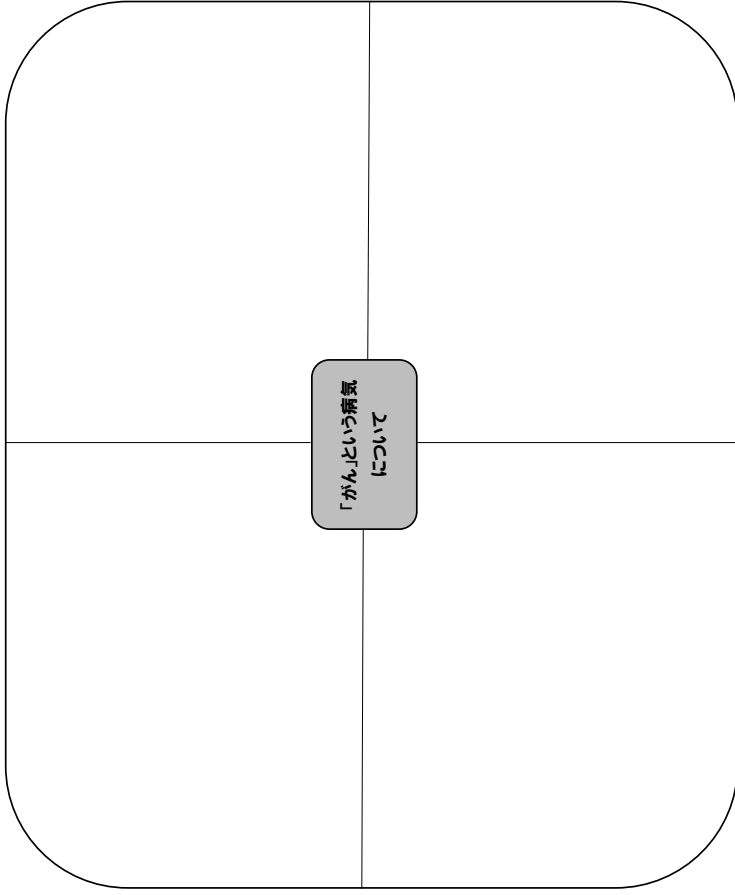
- ①エキスパートの場所に移動したら、自分のテーマを下の[]に記入する。

テーマ

- ②資料を見て「気づいたこと」「考えたこと」を付箋（ふせん）に記入して、中央のシートにどんどん貼る。
- ③中央のシートから、テーマについてまとめる。

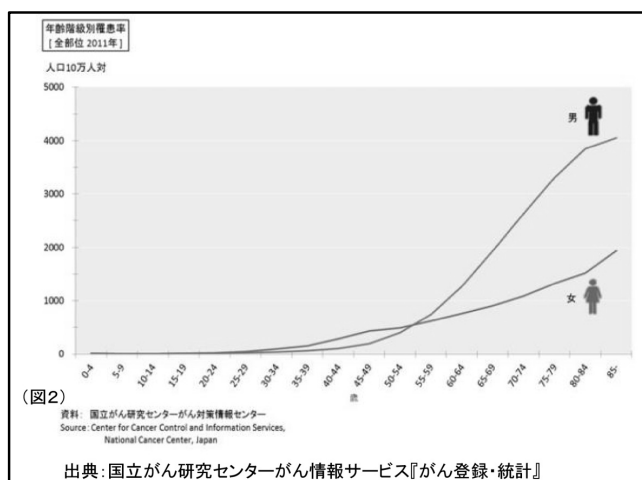
まとめ

5 ジグソー活動 ～各エキスパートからの報告会～ ・各エキスパートからの報告をメモしよう



- 6 上のメモから、今日の課題「がん」とはどのような病気で、どのように予防したらよいらうか？に対する答えを、グループでまとめよう。

テーマ：がんの「り患」 ※りかん…病気にかかること



● 部位別のガン患者数

部位別患者数		年齢調整罹患率（人口10万対）	
部位	患者数	男性	女性
胃	21.3万人	胃 (78.9)	乳房 (67.1)
前立腺	18.3万人	大腸 (63.4)	大腸 (35.9)
乳房	17.9万人	肺 (61.6)	胃 (28.6)
結腸	15.7万人	前立腺 (43.5)	子宮 (22.8)
肺・気管	13.1万人	肝・胆管 (29.8)	肺 (21.1)
直腸	7.8万人	食道 (17.1)	肝・胆管 (10.6)
肝	6.6万人	膵臓 (15.1)	甲状腺 (10.1)
膀胱	6.4万人	膀胱 (12.5)	卵巣 (10.0)
子宮	5.7万人	腎・尿路 (12.2)	膵臓 (9.3)
悪性リンパ腫	5.3万人		
痔	3.0万人		

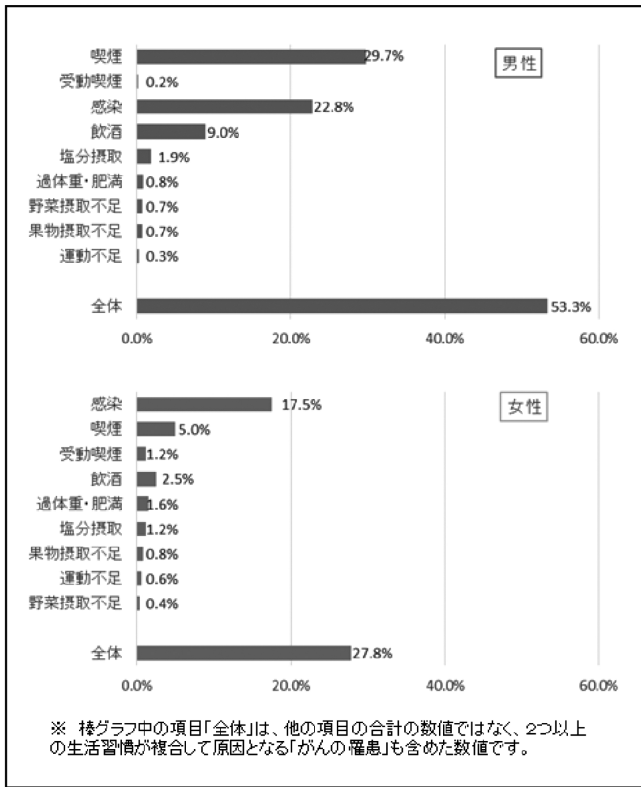
※厚生労働省「平成20年 患者調査」

※国立がん研究センター「平成19年 部位別年齢階級別がん罹患率」

7 未来の自分にあてて、「がんの予防を呼びかける手紙」を書こう。
※今日の学習内容を盛り込む→「がんってどんな病気らしいよ」「こんな生活を送ろう」など

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

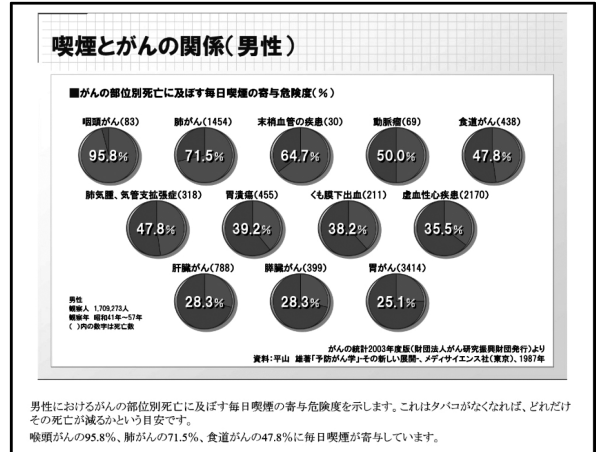
テーマ：生活習慣とがん



日本人におけるがんの主な要因

(出典: 国立がん研究センターがん情報サービス)

※ Inoue, M. et al.: Ann Oncol, 2012; 23(5): 1362-9 を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成



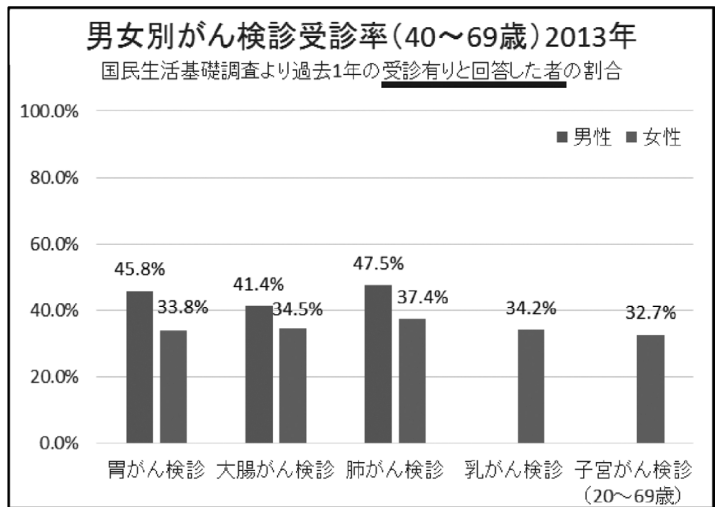
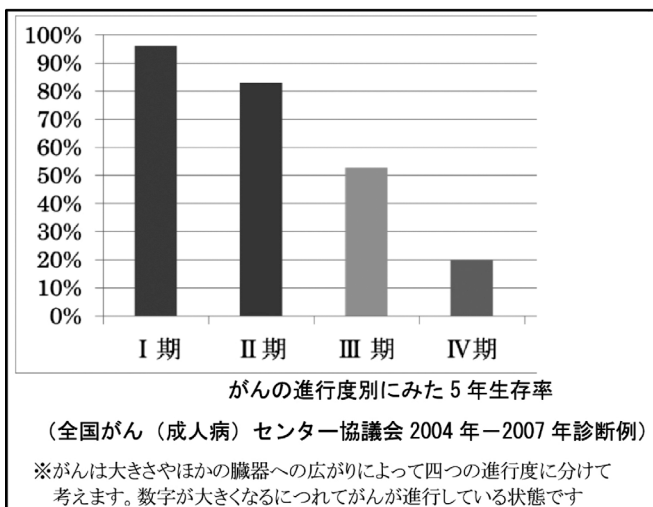
主要部位のがんと食物・栄養素との関連についての疫学研究のまとめ*

↑(上向き矢印)はがん発生の促進効果ありを意味し、↓(下向き矢印)はがん発生を抑制する効果があることを意味する。
(↑↑, ↓↓)は確実、(↑, ↓)は可能性大

	食道	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺
食習慣							
野菜	↓		↓				
果物	↓	↓				↓	
獣肉類			↑ (保存・加工肉)				
塩分		↑					
アルコール	↑↑			↑↑		↑↑	
熱い飲食物	↑						
栄養関連要因							
肥満	↑↑ (腺がん)		↑↑			↑↑ (閉経後)	
運動			↓↓ (結腸)				

*野菜・果物はInternational Agency for Research on Cancer. Fruits and Vegetables. IARC Handbooks of Cancer Prevention Volume 8. IARC Press 2003. その他の食品はWHO. Diet, Nutrition and the Prevention of Chronic Diseases. Report of a Joint WHO/FAO Expert Consultation. WHO Technical Report Series 916 2003. による。

テーマ：がん検診



Ⅲ 平成28年度 埼玉県がん教育授業研究会 3 県立日高高等学校

文部科学省委託事業「がんの教育総合支援事業」

平成28年度埼玉県「がん教育」授業研究会（高等学校）実施要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 平成28年11月22日（火）

4 会 場 県立日高高等学校 日高市旭ヶ丘806
*駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関で来校願います。
(JR川越線 武蔵高萩駅下車 あさひ口から徒歩9分)

5 参加者対象 高等学校・特別支援学校教職員（保健体育科授業担当者等）

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| (1) 受付 | 13時00分～ | (職員玄関) |
| (2) 公開授業 | 13時30分～14時20分 | (視聴覚室) |
| (3) 全体会 | 14時35分～14時55分 | (会議室) |
| (4) 研究協議 | 15時00分～16時30分 | (会議室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	根岸 怜子 教諭	保健体育（科目保健） 「(1) 現代社会と健康」 イ 健康の保持増進と疾病の予防 ㍿ 生活習慣病と日常の生活行動

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主席指導主事	石川 泰成
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	武田 直美
埼玉県がん教育授業検討委員会委員		
埼玉大学教育学部	准教授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	准教授	儀賀 理暁
県立熊谷農業高等学校	教諭	中本 雅子
県立浦和高等学校	養護教諭	飯田 具子

1. 単元名 「現代社会と健康」 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (ア)生活習慣病と日常の生活行動

2. 単元について

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の意思決定・行動選択、それを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を活用し、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善することが重要である。

本単元では、生活習慣病を予防し、健康を保持増進するためには、適切な食事、運動、休養および睡眠など調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がん(悪性新生物)、虚血性心疾患、脂質異常症、歯周病などを適宜取り上げ、それらは日常生活と深い関係があることを理解できるようにする。

3. 生徒の実態

好奇心旺盛で、新しい知識に対して関心の強いクラスである。授業の内容と、日常生活の中で自分が感じたことに対する質問も多く、今持っている知識を生かして自分の意見を述べることができる。他者の意見を理解することができる一方で、互いの意見に対して話し合いをすることや、ディベートを行うことは苦手な傾向にある。

4. 教師の指導観

現代社会において、国民の 2 人に 1 人ががんに罹患し、国民の死亡者数の 3 人に 1 人はがんで亡くなっている。このことから、がんと私たちの生活は切っても切り離せないものである。また、早期に発見し、治療を開始すれば、罹患者の 9 割は完治していることから、本単元を通じて『がんに罹らないことがゴールではない』ということを経とし、次の 3 点を教えたい。

(1) 適切な予防方法・治療方法

食生活や飲酒・喫煙など日常の生活行動を整えることは、がんをはじめとする生活習慣病の予防に繋がる。しかし、健康な時に自らががんについて学ぶ意識は低く、また不適切な行動とわかっていても行動選択を自制することは難しい。このことから、「なぜ不適切な行動を選択してしまうのか」、「どうすれば適切な行動選択を行うことができるか」を自身の言葉でまとめ、発表できるようにしたい。

また、治療方法についても、早期に発見し治療を開始することはなぜ有効なのか(がんのメカニズム)、治療方法の決定、実施について理解しておくべきことはどのようなことかを知識として身に付けさせたい。

(2) 正しい情報を集めること

現在、がんの治療法をはじめ、予防のための研究や自治体における支援の整備が進んでいる。また、健康食品をはじめとした様々な情報で社会は溢れている。そのような情報社会で生きながら、「どこから・どのような」情報を得て行動していくべきかを考えさせ、将来実行できるようにしたい。

(3) 『病気(がん)に罹ること』も人生の通過点である

上記(1)、(2)から、正しい情報を集め、適切な予防、治療を行うことが大切である。そして、その後社会復帰するにあたり、周囲の支援や理解が非常に重要であると考え。「自分ががんに罹った後も人生は続いていくこと」と「がんに罹った人へのケア」について考え、意見を交換し合い、理解したことを実際の行動に移すことができるようにしたい。

5. 単元の目標

- (1) 生活習慣病と日常の生活行動について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理することや環境を改善して行くことが重要である。このことに関心を持ち、自身の日常生活の中で生活習慣病に関わる疑問点を挙げたり、身の回りの様々な情報に関心を持ち、質問したり、調べたり、意見を交換したり、学習活動に積極的に取り組もうとすることができる。 【関心・意欲・態度】
- (2) 生活習慣病と日常の生活行動について、自らの生活習慣を振り返る。その上で、継続していくもの、改善していくものとその方策について、学んだ知識や情報を基に総合的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。また、自身が社会に出た時を想像し、方策が実施可能かどうか、検討すべき点や改善点を述べるようにする。 【思考・判断】
- (3) 生活習慣病とそのメカニズムについて学び、日常の生活行動において、適切な予防方法、治療方法を選択・実践できるように知識を深める。また、生活習慣病の研究は日々進歩している現状を踏まえ、「どこから・どのような」情報を集める必要があるかを理解し、実践できるようにする。 【知識・理解】

6. 評価規準

	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
関心 ・ 意欲 ・ 態度	生活習慣病と日常の生活行動について、自身の日常生活や身の回りの情報に関心を持ち、質問や、意見交換、発表をしている。	①生活習慣病と日常の生活行動について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換を行うなど、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②生活習慣病と日常の生活行動について、資料や教科書などを見たり、読んだり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に取り組もうとしている。 ③生活習慣病と日常の生活行動について、学んだ知識を基に自身の考えを述べたり、まとめて表しようとしている。
思考 ・ 判断	生活習慣病と日常の生活行動について、学んだ知識や情報を生かし、実施可能な方策を挙げ、発表している。	①生活習慣病と日常の生活行動について、学習したことを個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりしている。 ②生活習慣病と日常の生活行動について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけ、課題を解決する方法を整理したり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ③生活習慣病と日常の生活行動について、学んだ知識と自身の生活習慣を照らし合わせ、より良い生活習慣の実践のために課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。
知識 ・ 理解	生活習慣病のメカニズムを学び、日常の生活行動における予防方法を理解している。また、生活習慣病の研究や治療方法など、適切な情報の集め方を習得し、実践している。	①生活習慣病の呼称の由来や病例、生活習慣病の予防対策について理解したことを発言したり、記述したりしている。 ②がんの予防対策は、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。 ③健康的な食生活の重要性、食事の今日的課題としてエネルギーの過剰摂取による肥満やメタボリックシンドローム、健康的な食生活習慣の形成について、学んだことを発言したり記述したりしている。 ④健康から見た運動の意義や今日的課題、健康づくりのための有酸素運動や筋肉に負荷をかける運動、運動のための環境づくりについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。 ⑤健康から見た休養の意義、全身疲労や局所疲労などの今日的課題、

	健康から見たより良い休養のとり方、健康に良い睡眠のとり方について理解したことを発言したり、記述したりしている。 ⑥喫煙とがんの関係、飲酒とがんの関係について学び、なぜ未成年は喫煙、飲酒を禁止されているのかを理解し、発言したり意見を述べている。
--	--

7. 単元の指導と評価計画(全7時間)

時	学習内容・ねらい	関	思	知	評価方法
1	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「生活習慣病とは」</p> <p>Iねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病と日常の生活行動について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換を行うなど、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 生活習慣病の呼称の由来や病例、生活習慣病の予防対策について理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 <p>II学習行動</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在、自分たちの知っている生活習慣病の例を挙げる。 生活習慣病の変遷について理解する。 健康に悪影響な生活習慣を挙げる。 代表的な生活習慣について理解する。 健康に良い影響を与える生活習慣を挙げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 悪性新生物(がん)、虚血性心疾患、脂質異常症、歯周病などの生活習慣病は、日常の生活行動と深い関係があること </div> <ol style="list-style-type: none"> 本時のまとめ(自分たちの生活習慣について振り返る) 	①		①	ワークシート
2	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「生活習慣病の予防」</p> <p>Iねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病と日常の生活行動について、課題解決に向けての話し合いをしたり、意見を交換したりなど、学習活動に意欲的に取り組むことができる。 <p>II学習行動</p> <ol style="list-style-type: none"> がんとはどのような病気か理解する。 がんの種類を自身で挙げ、その特徴について理解する。 がんと生存率について理解する。 がんの早期発見・早期治療の大切さと検診について学ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> がんとはどのような病気か、がんの経過、種類と特徴、生存率と予防(がん検診) </div> <ol style="list-style-type: none"> 本時のまとめ 		②		ワークシート
3	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「食事と健康」</p> <p>Iねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事と健康について、資料や教科書などを見たり、読んだり、自 				

	<p>分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康的な食生活の重要性、食事の今日的課題としてエネルギーの過剰摂取による肥満やメタボリックシンドローム、健康的な食生活習慣の形成について理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食事の重要性と意義について考える。 2 健康に関わる食事の課題について考える。 3 必要なエネルギー量を決定する要素と栄養素について考える。 4 自身の食事、生活のリズムについて見つめなおし、改善点を挙げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進に食事は重要な要素であり、食事内容や日々の食生活は将来の健康の土台作りであること </div> <p>5 本時のまとめ</p>	②		③	ワークシート
4	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「日常の生活行動と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病と日常の生活行動について、学んだ知識と自身の生活習慣を照らし合わせ、より良い生活習慣の実践のために課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ・健康から見た運動の意義や今日的課題、健康づくりのための有酸素運動や筋肉に負荷をかける運動、運動のための環境づくりについて、理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 ・健康から見た休養の意義、全身疲労や局所疲労など今日的課題、健康から見たより良い休養のとり方、健康に良い睡眠のとり方について理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康における運動の意義について考える。 2 運動と健康の関係について考える。 3 健康のための適切な運動について、種類・内容を理解する。 4 健康から見た休養の必要性について考える。 5 休養のとり方について考える。 6 快適な睡眠を確保するために必要なことを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動は他者との交流においても大切な機会であり、心の健康においても大切な役割を果たしていること ・健康を保持増進するためには、より質の高い休養・睡眠が重要であること ・生活習慣病を予防し、健康を保持増進するためには、調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であること </div> <p>7 本時のまとめ</p>			④ ⑤	ワークシート

	食事・運動・休養を含め自身の理想的な生活習慣について考える					
⑤	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「がんの予防と社会的対策」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病と日常の生活行動について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換を行うなど、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 がんの予防対策は、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> がんの早期発見・早期治療の大切さを理解する。 がんの治療方法を理解する。 がん患者のケアや生活の質について考える。 がんと共生する社会について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> がんを予防するためには早期発見・早期治療が重要であること がんに対して様々な個人的対策や社会的対策が取られていること </div> <p>5 本時のまとめ</p>	①		②	ワークシート	
6	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「喫煙と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康への影響を踏まえ、販売方法の規制や環境整備等、たばこを取り巻く社会の変化について自身の身近な具体例を挙げることができるようにする。 喫煙とがんの関係、飲酒とがんの関係について学び、なぜ未成年は喫煙、飲酒を禁止されているのかを理解し、発言したり意見を述べたりしている。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> たばこに対する社会的イメージを考える。 たばこに含まれる有害物質と健康への影響を理解する。 たばこを取り巻く法的整備を学ぶ。 たばこと肺がんについて学ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> たばこの警告表示、受動喫煙・能動喫煙、分煙、たばこに含まれる有害物質、健康増進法、未成年者喫煙禁止法、たばこ規制枠組み条約 </div> <p>5 本時のまとめ</p>			⑥	②	ワークシート
7	<p>(ア)生活習慣病と日常の生活行動「飲酒と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲酒と健康について、学習したことを個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりしている。 飲酒による健康への短期的影響、長期的影響を理解する。また、飲酒開始の要因と飲酒による社会問題についても理解する。 					

<p>・飲酒とがんの関係についても学び、飲酒問題を、他人事ではなく自分たちに関わらせて理解し、考えることができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 飲酒を取り巻く問題について具体例を挙げる。</p> <p>2 アルコールが健康に及ぼす影響を理解する。</p> <p>3 飲酒を取り巻く社会問題について理解する。</p> <p>4 飲酒と生活習慣病について学ぶ。</p> <div data-bbox="225 427 1019 557" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導すべき内容〉</p> <p>・飲酒の短期的影響・長期的影響、飲酒の開始と社会問題、アルコール依存症、肝臓がん、未成年者飲酒禁止法</p> </div> <p>5 本時のまとめ</p>		①	⑥	ワークシート
---	--	---	---	--------

8 本時の学習と指導(5 / 7)

(1)ねらい

- ・生活習慣病と日常の生活行動について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換を行うなど、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・がんの予防対策は、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。 【知識・理解】

(2)資料及び準備するもの

- ・プレゼンテーション資料 ・プロジェクター ・掲示資料 ・ホワイトボード
- ・まなボード 10枚(グループの数) ・ホワイトボードマーカー

(3)展開

時間	学習内容	指導上の留意点(指導○、評価規準◆)
導入 7分	1 がんについての復習をする。	○がんについて、プレゼンテーション資料を使用して復習をさせる。 ・がんとはどのような病気か ・がんの経過 ・種類と特徴 ・生存率と予防 ○がんは「身近な病気であること」を理解させる。 なぜ身近なのか、疑問を持たせる。
	2 本時の学習内容を確認する。	
	課題 がんと関わっていく上で『大切なこと』はなにか、また、なにができるかを考えよう。	
	【学習前の自分を知る】 ・本時の課題に対して、学習前の自分の考えをワークシート記入する。 〈予想される反応〉 ・健康に悪い生活習慣を送らないようにする。(食事、飲酒など) ・健康に良い生活習慣を送る。(運動) など	○ワークシートを配布し、記入させる。 ○今まで学習してきたことをふまえ、現時点での考えを記入させる。 ○数人に発表させ、クラス全体の理解度を確認する。 ○小林麻央さんのブログ「KOKORO.」のトップを映し出し、本時は、がんの中の乳がんを例に挙げ、自分や身近な人ががんに罹患した時の対処方法を知り、何ができるかを学習することを伝える。
	3 同じテーマの資料を読み合うグループをつくり、話し合い、理解を深める。 【エキスパート活動】 ＜話し合いのテーマ＞ 資料A：「 <u>がんが発見</u> されるまで」 資料B：「 <u>治療と経過</u> について」 資料C：「 <u>QOL</u> や <u>社会的対策</u> について」 ＜話し合いの進め方＞ ①資料を見る・読む ②資料から気づいたこと・考えたことを個人ワークシートに書き込む。 ③内容をまとめ、元グループに戻った	○エキスパート(資料をまとめる)グループごとに着席させる。(3～4人グループ) ○エキスパート活動の役割を確認させる。 ○各自の担当資料、まとめ(発表用)プリントが入ったファイルを配布する。 ○活動の取りかかりがスムーズになるように、流れを掲示しておく。 ①担当資料(エキスパート資料)を見る・読む ②個人ワークシートに気づいたこと等を記入する ③班で協力して、資料の内容を整理する。 ○同じ課題に取り組むグループで、情報交換を行いま

<p>展 開 33 分</p>	<p>時の発表用プリントに報告内容を整理する。</p> <p>4 テーマを学んだ生徒が元グループに戻り、身につけた内容を発表し合う。発表内容を組み合わせて、本時の課題「がんと関わっていく上で『大切なこと』はなにか、また、なにができるかを考えよう。」に対する答えをまなボードに作り上げる。</p> <p>【ジグソー活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人ずつまとめた内容をグループ内で発表する。 ・ まなボードを完成させる。 <p>5 グループごとに、課題に対する答えを発表する。</p> <p>【クロストーク】</p>	<p>とめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈生徒が理解すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がんと関わっていく上で、大切なことは『早期発見・早期治療』『がん検診』である。 ・ がん治療の三つの柱は、手術治療、放射線治療、薬物治療（抗がん剤）がある。 ・ がんの種類と進行度に応じて、三つの治療法を単独や組み合わせて行う標準治療が定められており、医師と相談しながら主体的に選択することが重要である。 ・ 治療後も個人の人生は続いていくことから、『身近な病気』で、患者に対して理解が必要である。 ・ がん患者との関わり方や必要なケアを考えていく必要がある。 </div> <p>○それぞれのテーマについて1人ずつ発表をさせる。その際、まとめた内容を全て伝えるのではなく、大切だと思われる内容を絞って発表するよう伝える。</p> <p>○各自グループ内で発表させ、まなボードに各自の資料を貼りつけ完成させる。</p> <p>◆生活習慣病と日常の生活行動について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換を行うなど、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈努力を要すると判断できる状況 (C)の生徒への指導の手立て〉（支援）</p> <p>△話し合いがうまく進んだグループを全体に広め、なかなか発表できない生徒や話し合いが進まないグループに良い例を示す。</p> </div> <p>○グループから発表者を1名決めさせ、まなボードを掲示しながら、考えや答えを全体に向けて発表する。</p> <p>○発表者は、「ゆっくりと、大きな声で」発表するように指示する。</p> <p>○他のグループの話聞き、個人ワークシートにメモを取らせる。</p> <p>○各班の発表を聞き、自分の班の発表と比較しながら新たに分かったことを記入させる。</p> <p>○エキスパート活動やジグソー活動、クロストークにおいて、理解させるべき内容が不十分だった部分に対して、教師から補足説明を入れる。</p>
-----------------------------	--	---

<p>まとめ 10分</p>	<p>6 本時の学習内容を振り返りながら個人ワークシートに本時のまとめと感想を記入する。</p> <p>【学習後の自分を知る】</p> <p>7 感想を発表する。</p> <p>8 教師の話聞く。</p>	<p>○これまでに使ったワークシートを見直させ、まとめを書くための材料にさせる。</p> <p>○導入で記入した内容と、最後のまとめの内容を比較させ、本時の伸び（学んだこと）を実感させる。</p> <p>◆がんの予防対策は、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p> <p>○本時のまとめを行い、がんの種類や病状だけでなく今後の生活や生き方を踏まえて、自分らしく生きられるようにするために、適切な思考・判断を行い、がん治療を選択することが大切であることを説明する。</p>
--------------------	--	--

9 資料

まなボード レイアウト

<p>【 】班 メンバー：○○、○○、○○、○○(1班3～4名)</p>	
<p>◇エキスパート活動からの報告をメモしよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料Aのまとめ</p> <p>課題 乳がんの検診について、資料をまとめて説明しよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料Bのまとめ</p> <p>課題 乳がんのステージと症状について、まとめて説明しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資料Cのまとめ</p> <p>課題 小林さんのブログから、どんな生き方がQOL(生活の質)が高いといえるのか、考えよう。</p> </div>	<p>◇がんとかかわっていく上で「大切なこと」はなにか？また私たちはどのようなことができるのか？</p>

〈エキスパート活動資料〉

資料A 『がんが発見されるまで』

課題 乳がんの検診について、次の資料をまとめて、説明しよう。

〈がんと診断されるまで〉

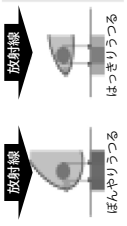
ケース1：Aさんの場合

2014年7月	2014年8月	2014年9月	2014年10月
中旬 健康診断 中旬 再検査【乳腺外科】 下旬 MRI撮影	中旬 健康診断結果 中旬 再検査【乳腺外科】 下旬 MRI撮影	中旬 MIR結果 下旬 マンモトーム生検 下旬 CT、CTPET	中旬 生検結果 + 告知 手術前検査

ケース2：Bさんの場合

下旬 乳がんドック →乳腺エコー（超音波検診）でしこりが見つかる 検診当日連絡を受ける →乳腺外来 受診 エコー、触診『打撲による良性のしこりでしょう』 念のため、細胞診（痛い）	2016年10月	2016年11月
	中旬 乳腺外来再診（細胞診の結果等） 異常なし（診察3分） 念のため、来年1月に再診を受けること （→B：「これからずっとそとそと受けるんですか？」 医：「いや、おそらく次回で最後でしょう。」） 中旬 検診結果 着（予定）	

〈乳がん検診の内容〉

<p>①乳腺エコー</p>  <p>超音波検査のこと。数ミリの手に触れないしこりを見つけて出すことができる。</p>	<p>②マンモグラフィ</p>  <p>X線検査のこと。しこりになる前の石灰化した小さな乳がんを発見するための検査。</p>	<p>③血液検査</p>  <p>血液中に存在するマイクロRNAという物質を分析することで、早期がんを見つけることが可能である。</p>
<p>④細胞診</p>  <p>乳房や皮膚に変化はないか、しこりやくぼみがないか直接触れて確認する。</p>	<p>⑤細胞診（針生検など）</p>  <p>麻酔をして行う</p>	<p>⑥細胞診（針生検など）</p>  <p>細胞診において「識別が難しい」等とされた場合、乳がんかどうかをはっきりさせるために実施、局所麻酔を行う。</p>

〈乳がん検診の費用〉

検診	内容	費用
一般的なもの	マンモグラフィー 5000円程度 乳腺エコー 3500円程度	8,500円程度
乳がん検診	マンモグラフィー・乳腺エコー 腫瘍マーカー（血液検査）	12,000円程度
レディースドック	乳がん・子宮がん検診 + 人間ドック 胃カメラ等の他の検診もセットになっている	37,000円～
市町村で受診できるもの	マンモグラフィー、細胞診 ※ただし、対象者を40歳以上とする	1000円程度

参考 日本医師会『知っておきたいがん検診』、乳がん検診 info 他

資料B 『がんのステージと治療』

課題 乳がんのステージと症状について、まとめて、説明しよう。

〈ステージとは・・・〉






↑例 “胃がん”でそれ以外の臓器に転移している状態

○3つの要素で判断される：『がんの大きさ』、『リンパ節の転移』、『その他の臓器への転移』

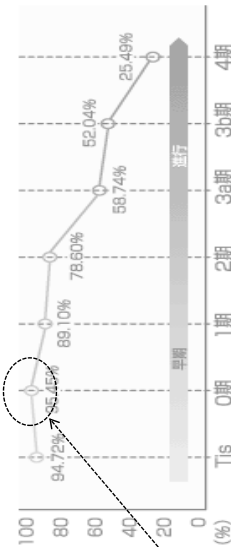
↑脇の下や太ももの付け根にある血管

〇癌が乳がんほど悪化が上がる

〈乳がんのステージと症状〉

ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期
図					
症状	乳管の中にがんがとどまっているもの。早期の乳がんでは非浸潤がんという。	しこりの大きさが2cm以下のもの。リンパ節には転移していないもの。	しこりの大きさは2cm～5cm。しこりの大きさが2cm以下でリンパ節に転移しているもの。しこりの大きさが2cm～5cmでリンパ節に転移があるもの。	a 脇の下やリンパ節に転移しているもの。または、胸壁の内側に転移しているもの。 b しこりが胸壁の内側にこもり固定されている。または、皮膚にこもりはがれたり、むくんだりしているもの。（炎性乳がん） c 脇の下と胸壁内側の両方のリンパ節に転移している。または胸骨上下のリンパ節に転移があるもの。	骨、肺、肝臓、脳などの臓器に転移しているもの。
治療	①手術 ②乳房温存手術+放射線治療	①+再発予防薬治療 ②+再発予防薬治療	①+再発予防薬治療 ②+再発予防薬治療	③手術+放射線治療 ④手術+放射線治療+ホルモン療法+抗がん剤治療	⑤薬物療法

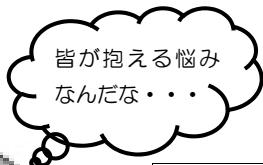
〈乳がんの10年生存率〉



Aさんの場合

2014年10月 中旬 生検結果 + 告知 手術前検査	2014年11月 初旬 CT、CTPET 麻酔科での手術説明 下旬 手術2日前 乳がん手術マッピング [1泊2日 入院手術]	2014年12月 初旬 手術後1週間 傷跡確認、抜糸 中旬 手術結果 今後の治療方針 下旬 放射線治療の準備 大学病院へ診察に	2016年1月 初旬 放射線治療マッピング 中旬 放射線治療開始 ～2月下旬まで ※この後ホルモン療法
-----------------------------------	---	---	---

参考 日本人のためのがん予防法（国立がん研究センター）、NPO法人乳癌健康研究会 他



1. がんに罹ったら・・・

ショックを受ける

＜皆が抱える悩み＞

- ・非常に強い不安感
- ・眠れない
- ・食べられなくて辛い など

◎情報の集め方

- ①病院や地域の図書館 …… 医療情報コーナーを利用する
- ②がん相談支援センター



不安や落ち込みを少しでも和らげるために・・・

- ・時間の経過と共に心を整理する
 - ・無理に病氣と向き合わない(好きなことをする)
- ＜相談して気持ちが楽になった相手＞
- ①家族 ②友人・知人 ③担当医

2. 自分らしい向き合い方 治療編

＜紹介＞

小林 麻央さんは現在、**乳がんで闘病生活を送っています**。自身の体験、治療について、また日常生活等をつづったオフィシャルブログ「KOKORO.」は、社会に大きな反響を与えるとともに、『**生活の質(毎日の生活の中で大切なこと)**』について考えさせられる、心が温かくなる内容となっています。



ブログ①

ご報告 2016-10-01

病院の先生方の勇断により、先日、手術を受けることができました。術後徐々に回復してきたため、ご報告させていただきます。

私の場合、根治手術ではなく、**局所コントロール、QOLのための手術です。**

・・・略・・・

痛みもあるので、これからが戦いです。

なので、心からの喜びとまではいきませんが、先生方が大きな手術にチャレンジして下さったことは、大いに大いに喜んで、心からの感謝をしています。

まわりの皆は、ここまでられたことが奇跡だと言ってくれますが、奇跡をここでは使いたくないです。

奇跡はまだ先にあると信じています。

局所コントロール手術とは…？

身体の一部のがん細胞や目に見えるしこり(がん)とその付近に転移したリンパ節を取り除く手術。根治手術ではなく、取り除くことができる一部を手術で取り除いた状態。

※根治手術

身体のものでがんを取り除く手術

QOL(生活の質)

人生において多くの社会的役割を実行できる能力だけではなく、**自分の生活への満足感や幸福感も含まれる。**

ブログ② 運動会！ 2016-10-10

幼稚園の運動会、行ってまいりました！！ありがとうございます。

思えば、闘病してから、初めて、決めた目標でした。

嬉しくて、力を使い果たし、今はクタクタですが、この幸せなクタクタ！久しぶりに感じて、噛み締めています。

娘も息子も、思いっきり楽しんで参加していて、本当に嬉しかったです。

これまで、先生やママ友たちがずっと子供たちを見守ってくれていて、支えてくれました。感謝でいっぱいです。

年長組の旗体操は今年も感動でした。

来年は娘の番だ！

課題 小林さんのブログから、どんな生き方が、QOL(生活の質)が高いといえるのか、考えよう。

参考文献 国立がん研究センター『がんになったら手取るガイド』、ブログ『KOKORO.』他